

## 第31回 土木学会地震工学研究発表会 (2011年)

11月17日(木)	部屋A(As311-312)	部屋B(As303-304)	部屋C(An401-402)	部屋D(An405)
9:00	開会式(コンベンションホール)			
9:15-10:40	11-A 構造(動的応答評価1) 林川 俊郎	11-B 地震動(地震動評価) 一井康二		11-D 津波(2011地震) 藤間功司
10:55-12:20	12-A 構造(動的応答評価2) 矢部 正明	12-B 地震動(設計入力地震動) 後藤浩之	12-C 災害調査(ライフライン) 三輪 滋	12-D 津波(橋) 山本吉道
ランチタイム				
14:15-15:40	13-A 構造(鋼構造) 森 敦	13-B 地震動(2011年東北地方太平洋沖地震の地震動評価) 鈴木猛康	13-C 災害調査(液状化) 庄司 学	13-D 津波(数値計算) 奥村与志弘
15:55-17:20	14-A 構造(コンクリート) 市村 強	14-B 地震動(地盤応答と2011東北地方太平洋沖地震) 山田雅行	14-C 災害調査(津波) 橋本隆雄	14-D 防災(ライフライン) 若松 加寿江

11月18日(金)	部屋A(As311-312)	部屋B(As303-304)	部屋C(An401-402)	部屋D(An405)
9:00-10:25	21-A 構造(実験1) 高橋 良和	21-B 地震動(2011地震の地震動の影響と地震被害) 吉見雅行	21-C 地盤(地中構造物) 鎌田泰子	21-D 防災(避難・防災教育) 伊津野和行
10:40-12:05	22-A 構造(実験2) 菅野 高弘	22-B 地震動(解析手法) 野津 厚	22-C 地盤(液状化) 末富岩雄	22-D 防災(地震対応) 大原 美保
12:05-13:00	ランチタイム			

13:00-17:00	<p>「東日本大震災からの教訓とこれからの防災研究の展望」 於：東大生産研An棟コンベンションホール 13:00-13:05 開会挨拶(日本自然災害学会会長) 13:05-13:15 趣旨説明(実行委員長 目黒公郎)</p> <p>13:15-15:15 第一部 基調講演「東日本大震災からの教訓」 今村 文彦 : 津波防災の観点から 小長井一男 : 地盤災害の観点から 当麻 純一 : 原子力防災の観点から 岡田 憲夫 : 総合防災の観点から</p> <p>15:15-15:35 休憩</p> <p>15:35-16:55 第二部 パネルディスカッション「これからの防災対策・研究の課題と展望」 モデレータ: 目黒 公郎 パネリスト: 第一部講演者</p> <p>16:55-17:00 閉会挨拶(土木学会地震工学委員会委員長)</p>			
17:30	懇親会@コンベンションホール ホワイエ			

11月19日(土)	部屋A(As311-312)	部屋B(As303-304)	部屋C(An401-402)	部屋D(An405)
9:00-10:25	31-A 構造(免震・制震1) 横川 英彰	31-B 構造(管路) 志波 由紀夫	31-C 地震動と地盤構造 小野祐輔	31-D 防災(計算・構造) 竿本 英貴
10:40-12:05	32-A 構造(免震・制震2) 宇野 裕恵	32-B 構造(トンネル) 鈴木 崇伸	32-C 地盤(構造物と地盤1) 小濱英司	32-D 防災(被害予測) 盛川 仁
ランチタイム				
13:45-15:10	33-A 構造(構造物の耐震) 田中 努	33-B 構造(ダム及び港湾構造物) 有賀 義明	33-C 地盤(構造物と地盤2) 池田隆明	33-D 防災(地盤・防災情報) 大角恒雄

1セッション(5講演)85分, 1講演15分(発表12分質疑3分) 総合討論10分を基本とします。

講演用のPC等は各自ご持参ください。

発表資料は、講演者にはUSBメモリ+CD-ROMを当日配布します。聴講者にはCD-ROMを当日配布します。

17日は朝9時から受付を開始します。